

関連団体へのヒアリング結果

日程		団体名	区分
令和6年11月1日	11:00~	市老人クラブ連合会	市関係団体(高齢者)
令和6年11月5日	9:30~	市民生委員児童委員協議会	地域福祉推進団体
令和6年11月6日	10:00~	市連合自治会長会	市関係団体(自治会)
	11:00~	市自主防災会連絡協議会	市関係団体(防災)
	15:30~	市社会福祉協議会	地域福祉推進団体
令和6年11月7日	13:30~	子育てネットくすくす	市関係団体(子ども)
令和6年11月18日	10:00~	地区社会福祉協議会	地域福祉推進団体
令和6年11月18日	13:30~	希望の家	福祉関係団体(障がい者)
書面ヒアリングのみ	-	市内中学生(生徒会)	市内中学校

市老人クラブ連合会

◆ 活動を行ううえで困っていること

- ・60歳代の入会が少なく、会員数が減少し存続が難しい。
- ・会員数増のための手立てが分からない。
- ・役員のみならず手不足、他団体と役員の兼任による負担増。
- ・地域活動のリーダー、ボランティアの確保が困難。
- ・事務処理などによる負担増。

◆ 行政との連携や取り組み、地域福祉推進に必要なと思うこと

- ・老人会員増、自治会員増についての協力。
- ・行政の組織として、事務作業を担ってくれる人材の配置。

民生委員児童委員協議会

◆ 活動を行ううえで困っていること

- ・自治会加入者やサロン活動の参加者の減少。
- ・民生委員数の減少(なり手不足)により機能が低下。
- ・一人の民生委員が抱える家庭数や課題が大きくなりすぎてしまっている現状がある。
- ・見守りの人員の確保が困難となっている。(見守り対象者は増加している)

◆ 行政との連携や取り組み、地域福祉推進に必要なと思うこと

- ・行政の取り組みは重視しており、県とも連携していきたい。
- ・地域福祉計画に、総合的な窓口・統括的な部署を作成できるよう明記してほしい。
- ・各団体からでた意見を取りまとめて、上へ上げるような仕組みを作ってもらいたい。
- ・目指すスキーム「各団体⇒連携組織(意見の集約)⇒行政(関連課)へ」
- ・地域福祉活動計画との整合性を図り、特色のある内容にしてもらいたい。

市連合自治会長会・自主防災会連絡協議会

◆ 活動を行ううえで困っていること

- ・役員の高齢化、加入者の確保。
- ・要支援者に対する個々の対応。
- ・コロナ禍における活動の停滞。
- ・講習会の講師の確保。
- ・幅広い年齢層での防災訓練のあり方。
- ・避難訓練意識の個人差への対応。
- ・地域活動への関心の低下。
- ・新たな居住者の自治会への関心の低さ。

◆ 行政との連携や取り組み、地域福祉推進に必要なと思うこと

- ・行政や他地区の自主防災組織との連携強化及び情報の共有。
- ・社会福祉協議会との連携による高齢者支援の充実。
- ・災害弱者と言われる障がいのある方への対応の協議。
- ・障害者施設、老人福祉施設などでの安全性の確保。
- ・災害時の生活に大きく関わる業者との連携。
- ・学校の統廃合で地域コミュニティがどのように変わっていくのか不安。
- ・地域の自治会との話し合いが必要。
- ・地域福祉活動計画との整合性確保。

市社会福祉協議会

◆ 活動を行ううえで困っていること

- ・地域づくりを進めるための職員体制や財源の不足。
- ・地域活動の担い手や地域福祉活動リーダーの後継者不足。
- ・複雑多岐にわたる課題に対応できる新たな支援体制やネットワークの整備。
- ・地域福祉活動を行うための拠点整備の充実。
- ・地域づくりをより効果的に進めていくための仕組みづくり。
- ・自治体加入世帯の減少。
- ・地域を超えた圏域での地域福祉活動や他分野と福祉の連携への発想の転換。

◆ 行政との連携や取り組み、地域福祉推進に必要なと思うこと

- ・行政や地区社会福祉協議会と連携した居場所づくりの支援。
- ・地域福祉に関する理解促進に向けた取り組みの充実。
- ・重層的支援体制の必要性についての周知や啓発。
- ・市や社会福祉協議会の職員が地域に出向き、地域住民と一緒に考えていく機会の確保。
- ・地域福祉計画の定期的な振り返り(評価、点検)の機会の確保。
- ・地域づくりを支援する行政の担当窓口の設置と相談窓口の明確化。
- ・担当が変わっても活動が継続できる仕組みづくり。
- ・災害に備えた日頃からの取り組みの協議と実践。
- ・権利擁護センターの設置を含む、取り組みについての協議と実践。
- ・共生社会の実現を目指す福祉教育の推進。
- ・包括支援体制のイメージ共有と具現化に向けた連携強化。

子育てネットくすくす

◆ 活動を行ううえで困っていること

- ・生活困窮をはじめとする保護者の疾患、生活力不足の家庭が多くなってきている。
- ・上記などを要因とした家庭内の衛生環境の悪化(ゴミ屋敷)が深刻。
- ・ゴミ屋敷の片付けやごみ処理について、支援者に大きな負担が生じている。
- ・ゴミ処理場のルールが厳し過ぎて、地域福祉の推進にブレーキとなっている。
- ・虐待やDV等、ハイリスク家庭の地域での見守り体制が必要だと感じる。
- ・うつやメンタルクリニックの受診など、精神疾患を患う家庭が増加している。
- ・ひとり親や障がい児、医療的ケア児等、特別な支援が必要な家庭が被災した時の対応が不十分。
- ・民生委員・児童委員をはじめとする地域活動を担う人材が不足。
- ・公民館など公共施設の職員によって、対応にムラがあり、心を痛める方がいる。

◆ 行政との連携や取り組み、地域福祉推進に必要なと思うこと

- ・顔が見える関係、ひとりの困りごとを地域の困りごととして支え合える関係性の構築。
- ・ゴミ屋敷の問題は、さまざまな課題を抱えており、条例への位置づけなどが必要。
- ・ゴミ処理問題については、ゴミ処理場の対応を含めた早急な行政主導での連携体制の整備。
- ・行政との友好的パートナーシップによる、制度の隙間を埋める予防型支援の充実。
- ・当事者や子どもの声の反映によるニーズに沿った使える支援への転換。
- ・NPO 法人との職員交流や大学などとの連携による福祉人材の育成。
- ・ふれあい体験授業など、地域で良好な子育てが循環する持続可能な仕組みづくり。
- ・土日の子育て支援ニーズが高まりにあわせた制度の見直しや体制の整備。

地区社会福祉協議会

◆ 活動を行ううえでこまっていること

- ・地域での活動に対して意見を言う人は多くいるが、活動に協力してくれる人は減少。
- ・自治会の数や自治会員が減少。
- ・各種役員を兼務している人が多いのは問題（一部の人に負担が集中）。
- ・高齢者がさらに年長の高齢者を見守る状態にある。
- ・人不足でボランティアを含む後継者の人材育成がなかなかできない。
- ・活動の拠点となる場所がない（公民館が使いにくい地区がある）。
- ・今の役員の人が高齢化していく中、今後の後継者がいない。

◆ 行政との連携や取り組み、地域福祉推進に必要なと思うこと

- ・重層的支援体制整備後は行政からの積極的な情報提供、情報連携が重要。
- ・福祉関連の諸団体が連携しやすい体制の構築。
- ・行政との協働によるボランティア人材の育成（有償ボランティアも含む）。
- ・社協を通じて、市が活動費（補助金）を提供するなど、活動維持や活性化につながる支援。

希望の家（しょうがい者生活支援センターふらっと）

◆ 地域活動で困っていること

- ・市内には就労事業所が少なく、本社は東京にあるなど、仕事上での連携がとりにくい。
- ・人手不足に加え、福祉制度の複雑化による煩雑な事務作業の増加。
- ・制度自体が複雑化し対応が難しい。
- ・一緒に活動できる事業所（横のつながりを持てる事業所）が市内にあまりない。
- ・自治会に条件があり、障がいを抱えている人が入りづらい状況がある。

◆ 行政との連携や取り組み、地域福祉推進に必要なと思うこと

- ・大規模な災害が発生した場合に備えた、対応が難しい人を対象にした研修会の開催。
- ・行政との連携による避難訓練や課題の共有。
- ・福祉人材の確保や育成支援。
- ・成人へのサービス（移動支援等）に対応できる事業所を増やす取り組み。
- ・ゴミ処分におけるルールの緩和。
- ・福祉事業所のホームページ作成などへの助成。
- ・福祉分野の法定研修の合同開催及び法令遵守のための勉強会を実施。
- ・福祉分野における必要書類や書式の統一化、簡素化。
- ・18歳以上の成人の福祉サービスの向上。

市内中学生

◆ 住んでいる地域のいいところ

- ・登下校時に挨拶を交わすことができるところ。
- ・ゆうゆうロードの落ち葉やごみの掃除をしてくれている人がいるところ。
- ・近所の人たちが、気軽に声をかけてくれたり、手を振ってくれたりするところ。
- ・学年に関係なく、子どもたちの仲がいいところ。
- ・怪我をしたとき、パトロールの方が手当をしてくれるなど、地域の人が親切なところ。
- ・空海という偉人がいたり、たくさんお寺があったりするところ。
- ・秋祭りの獅子舞など人が集まる行事があるところ。
- ・食べ物がおいしく自然が多いところ。

◆ 住んでいる地域の悪いところ

- ・外灯が少なかったり、カーブミラーがなかったりなどで怖さを感じる場所。
- ・小さい子がいる公園で、中学生が遊ぶと怒られてしまう場所。
- ・空き地が多く、雑草が高く生い茂って少し怖い場所。
- ・夜人通りが少なく不安を感じる場所。
- ・夜中にバイクの音がうるさい時がある場所。
- ・遊ぶところが少ない場所。
- ・自転車などの事故が多い場所。

◆ 住んでいる地域で「気になる人・困っている人」はいますか

- ・生活に困窮しているのか、公園の水をペットボトルに汲んでいる方がいる。
- ・時々、道路の真ん中を自転車でゆっくり走行している方を見かける。
- ・自転車に乗っている高齢者の方がフラフラして危なく感じる。
- ・年金暮らしや一人暮らしの人、高齢者が心配。

◆ **地域ボランティアへの参加状況**

- ・特に活動に参加出来ていないが、「お接待ボランティア」が、素敵な取り組みだと思う。
- ・空海まつり、夏祭り、秋の獅子舞祭りに参加し、獅子舞で地域の家を回ったりしている。
- ・神社の清掃ボランティアをしている。

◆ **地域でお互いに「つながり」、「助け合い」、「支え合う」ためにできると思うこと**

- ・「繋がろう」という気持ちをもって、積極的な挨拶やコミュニケーションを図ること。
- ・些細な事へも「ありがとうございます」の感謝の気持ちを伝えること。
- ・譲り合ったり、困っている人がいたら声をかけたりすること。
- ・お祭りやボランティアに参加して、地域の人と交流を持つこと、参加できなくても調べてみることに。
- ・一人暮らしの方がいたら、声をかけたり話をしたりすること。
- ・地域の子供達と仲良くなること。